

令和5（2023）年12月6日

I R委員会

I R課

令和3（2021）、4（2022）、5（2023）年度実施看護学部卒業生アンケート調査まとめ（報告）

【調査目的】看護学部を卒業した卒業生に、教育成果などについてアンケート調査を実施し、今後の教育改善に役立てることを目的とする。

【調査方法】

	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度	令和5（2023）年度
期 間	令和3（2021）年10月1日～10月31日	令和4（2022）年10月1日～10月20日	令和5（2023）年10月1日～10月20日
対 象	令和元（2019）年度に看護学部を卒業した卒業生	令和2（2020）年度に看護学部を卒業した卒業生	令和3（2021）年度に看護学部を卒業した卒業生
方 法	郵送による調査票の配付、Google Formによる回答	郵送による調査票の配付、Google Formによる回答	郵送による調査票の配付、Google Formによる回答

【回 答】

	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度	令和5（2023）年度
配 付	令和元（2019）年度看護学部卒業生のうち就職先を把握している15人（聖マリアンナ医科大学病院等10人、その他の病院5人）	令和2（2020）年度看護学部卒業生のうち就職先を把握している43人（聖マリアンナ医科大学病院等23人、その他の病院20人）	令和3（2021）年度看護学部卒業生のうち就職先を把握している68人（聖マリアンナ医科大学病院等36人、その他の病院32人）
回答数	6	17	11
回収率	40%	40%	16%

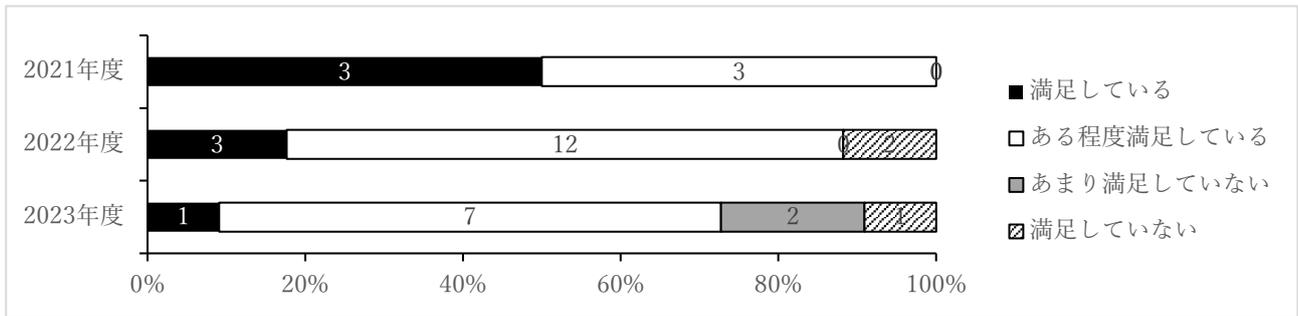
【調査結果】

1. 機関の種別

	病院(20床以上) 一般病院	病院(20床以上) 特定機能病院	病院(20床以上) 地域医療支援病院	病院(20床以上) その他の病院	診療所 有床診療所(1～19床)	診療所 無床診療所(0床)	その他
令和3（2021）年度	4	2	0	0	0	0	0
令和4（2022）年度	6	8	2	1	0	0	0
令和5（2023）年度	5	3	2	1	0	0	0

2. 現在の職業に満足しているか

	満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	満足していない
令和3（2021）年度	3	3	0	0
令和4（2022）年度	3	12	0	2
令和5（2023）年度	1	7	2	1



3年間を合わせて「満足している」、「ある程度満足している」と回答した割合が85%となっており、概ね現在の職業に対する満足度は高い。年度毎で見ると、「満足している」、「ある程度満足している」と回答した割合は下がっている。

3. 今後のキャリアアップの希望

	あり	なし	(ありの場合) 具体的な希望
令和3 (2021) 年度	3	3	認定看護師 1、専門看護師 2
令和4 (2022) 年度	8	9	認定看護師 4、専門看護師 4、看護管理者 1
令和5 (2023) 年度	5	6	認定看護師 3、専門看護師 1、特定行為研修 1、看護管理者 1

4. 資質・能力 (DP) について、現在の職業や社会生活に役立っているか。

	令和3 (2021) 年度			
	役立っている	どちらかといえば役立っている	どちらかといえば役立っていない	役立っていない
豊かな人間性と倫理観をもとに、人間の尊厳と権利を擁護する態度	1	5	0	0
自己理解・自己受容をもとに、自己を活用した対人支援力	2	3	1	0
看護を必要とする人々に、的確な看護判断のもとで確実に実践できる基礎的能力	1	5	0	0
地域社会の包括的ヘルスケアシステムの一員として、人々の健康生活に貢献する基礎的能力	1	3	2	0
看護専門職として自らの価値観を形成し、成長し続けようとする力	2	4	0	0

D P	要素	令和4（2022）年度					令和5（2023）年度				
		役立っている	どちらかといえば役立っている	どちらともいえない	どちらかといえば役立っていない	役立っていない	役立っている	どちらかといえば役立っている	どちらともいえない	どちらかといえば役立っていない	役立っていない
豊かな人間性と倫理観をもち、人間の尊厳と権利を擁護する態度	豊かな人間性	3	10	2	1	1	2	4	5	0	0
	倫理観	6	8	1	1	1	2	5	4	0	0
	人間の尊厳と権利を擁護する態度	7	8	1	1	0	3	3	5	0	0
自己理解・自己受容をもち、自己を活用した対人支援力	自己理解・自己受容	4	9	3	0	1	1	5	5	0	0
	対人支援力	5	8	3	0	1	1	4	6	0	0
看護を必要とする人々に、的確な看護判断のもとで確実に実践できる基礎的能力	看護判断力	2	11	4	0	0	2	4	5	0	0
	看護実践力	4	8	4	0	1	2	3	5	1	0
地域社会の包括的ヘルスケアシステムの一員として、人々の健康生活に貢献する基礎的能力	貢献しようとする態度	4	10	3	0	0	2	4	5	0	0
看護専門職として自らの価値観を形成し、成長し続けようとする力	看護専門職として自らの価値観	4	9	4	0	0	1	4	6	0	0
	成長し続ける力・学び続ける力	2	11	3	0	1	2	5	4	0	0

5. 人柄や基礎的能力

	令和3（2021）年度				令和4（2022）年度					令和5（2023）年度				
	役立っている	どちらかといえば役立っている	どちらかといえば役立っていない	役立っていない	役立っている	どちらかといえば役立っている	どちらともいえない	どちらかといえば役立っていない	役立っていない	役立っている	どちらかといえば役立っている	どちらともいえない	どちらかといえば役立っていない	役立っていない
物事に進んで取り組む力	2	3	1	0	3	11	2	0	1	0	5	5	0	0
他人に働きかけ巻き込む力	0	3	3	0	3	7	6	0	1	0	4	6	0	0
目的を設定し確実に実行する力	1	4	1	0	3	10	3	1	0	0	6	4	0	0
現状を分析し目的や課題を明らかにする力	3	2	1	0	3	7	6	0	1	0	4	6	0	0
課題の解決に向けたプロセスを明らかに準備する力	2	2	2	0	2	10	4	0	1	0	5	5	0	0
新しい価値を生み出す力	2	2	2	0	3	6	5	0	2	0	3	7	0	0
自分の意見をわかりやすく伝える力	0	4	2	0	4	6	5	1	1	0	3	6	1	0
他人の意見を丁寧に聴く力	1	5	0	0	9	5	3	0	0	1	5	3	1	0
意見の違いや立場の違いを理解する力	2	3	1	0	6	6	4	0	0	1	4	5	0	0
自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	2	3	1	0	5	8	3	0	1	1	4	5	0	0
社会のルールや人との約束を守る力	4	1	1	0	8	5	3	0	1	2	3	5	0	0
ストレスの発生源に対応する力	3	2	1	0	3	5	7	1	1	1	3	5	0	1
絶えず相手の立場になって考えたり行動したりする力	2	3	1	0	4	11	1	0	1	1	5	4	0	0

6. 社会人として必要と思うもの、大学時代に身に付けておけばよかった資質・能力

令和3（2021）年度

令和4（2022）年度

- ・イレギュラーな出来事が起こった時の対応力
- ・多重課題をこなす
- ・申し送りの方法 インシデントレポート書き方 看護専門技術 残業時間手当等の法律
- ・多重課題が生じた時の優先順位をつける能力
- ・人との付き合い方や、経済的な考え方
- ・社会人基礎力
- ・敬語や礼儀作法

令和5（2023）年度

- ・上司や医師への報告の仕方を学べたらより現場でスムーズに活かせたと思います。
- ・自分より立場が上の人たちとの関わり方
- ・緊急時の対応方法や心得（自身の時はコロナ禍ということもありなかなか難しかったが、もっと患者と関わりながら看護師の動きなどを体験しながら学ぶことで働いてからのギャップは少なくなったかもしれない。）
- ・社会人基礎力

7. 在学中勉強した科目で、現在役に立っていると実感している科目

令和3（2021）年度

- ・対人支援論
- ・形態機能学
- ・解剖生理学

令和4（2022）年度

- ・形態機能学
- ・看護技術
- ・高齢者看護学
- ・精神看護、老年期看護、音楽療法
- ・発達心理学、疾病治療論（聖マリアンナ医科大学の米山喜平先生の授業）、臨床心理学？
- ・母性看護学
- ・基礎看護
- ・看護技術、形態機能、看護教育学
- ・形態機能
- ・母性看護学、成人基礎、小児看護学
- ・解剖学
- ・疾患についての科目と看護
- ・看護倫理
- ・形態機能、看護技術

令和5（2023）年度
<ul style="list-style-type: none"> ・解剖生理 ・成人看護、基礎看護、老年看護

8. 在学中、もっと勉強しておけばよかったと思う科目

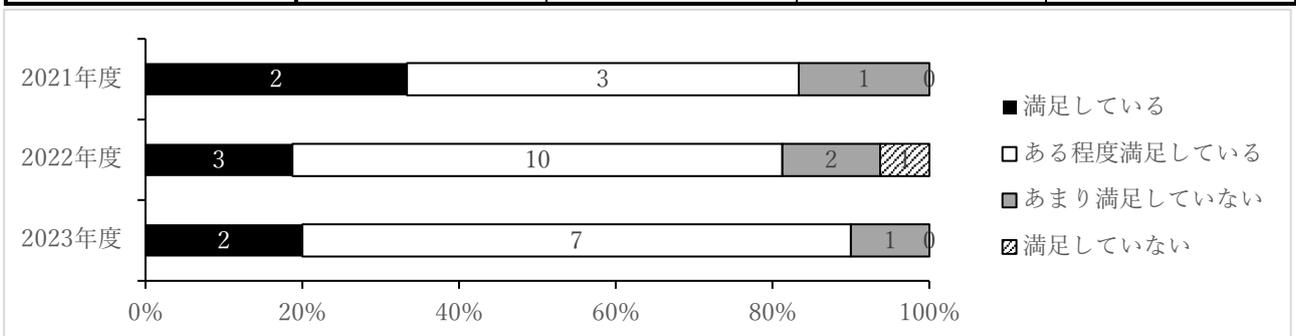
令和3（2021）年度
<ul style="list-style-type: none"> ・形態機能学、薬理学、心理学

令和4（2022）年度
<ul style="list-style-type: none"> ・疾病治療論 ・解剖生理学 ・薬学 病理 QB ・形態機能、疾病 ・形態機能 ・解剖生理学、薬学 ・在宅社会資源 ・看護倫理 ・勤務先の形態機能や抗がん剤など

令和5（2023）年度
<ul style="list-style-type: none"> ・解剖 ・手術機材について、麻酔について、急変時対応について ・形態機能学 ・情報

9. 総合的にみて、本学で学んだことについて満足しているか

	満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	満足していない
令和3（2021）年度	2	3	1	0
令和4（2022）年度	3	10	2	1
令和5（2023）年度	2	7	1	0



3年間を合わせて「満足している」、「ある程度満足している」と回答した割合が84%となっており、概ね満足度は高い。

10. 本学あるいは看護学部の良いと思ったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良いと思う点

令和3（2021）年度

- ・2期生は人数が少なかったため、教職員の方々から各々に気にかけてくださることが他の学年に比べて多かったこと。看護学部で先輩と後輩の接点を作れるような機会があると良かった。1年、2年と看護学とは別に一般教養の科目が多かった気がする。絶対にこれだけは外さないという以外は不要だと思う。
- ・教員や学校の方針が学生に伝わりづらい学校であり、何を求められていて、どのように行動してほしいのか分かりづらい学校だった。愛に根差した真の知恵が何なのかはわからなかったし、今回のアンケートも何を評価したいのかわからない。

令和4（2022）年度

- ・頑張ろ
- ・教員の入れ替わりが激しく皆言っていることがバラバラなので統一してほしい。
- ・空調などの設備、ネット環境の設備の改善。各分野の教職員の配置の調整。
- ・図書館の利用がよかった 教科書を買っても使わないので再利用できるといい。実習で退院後への支援をテーマにするより実践的な内容を取り組むといい。奨学金制度の充実。合唱とかキリスト学はいらぬ。エアコンの改善。保健師助産師資格コース。
- ・もうすこし臨床で使える考え方を身につけられるよう指導していただき良かったです。
- ・少人数制であったため、教員や学生同士の適切な距離感があり相談しやすいため、指導や学業に励みやすいと思いました。
- ・先生方との距離が近く、相談しやすかったことから就職してからも先輩にも分からないことを素直に聞いている点が良い。
- ・就職先へアンケートの依頼をするのはやめてほしい。アンケートという名の半強制的な調査でした。

令和5（2023）年度

- ・先生方との距離が近いので、伸び伸びと看護について学ぶことができました。また、さまざまな看護観を考えるきっかけとなりました。今でも、東京純心大学に入学できて良かったと思っています。
- ・縦横の繋がりがもう少し欲しかった。就職してからのギャップはつきものだと思うが、もう少し卒業生との交流などを深めて看護師と看護学生が話し合える時間を設けてギャップをできる限り少なくできるようにしていくと看護師になってからの心の持ちようが変わってくるかもしれないと感じた。